

道具学会研究発表フォーラム

2024年度 広島大会の開催について

「道具学会」は1996年、故榮久庵憲司氏を会長として設立されました。「道具」を研究の対象とした日本で唯一の学会です。かつてヒトは言語と道具をもって人類になった……言語学があるのならば道具学があつていい……そんな思いから、道具の定義、道具の本性、道具のありようを学問体系としてとらえようと立ち上がりました。毎年開催する「道具学研究発表フォーラム」の2024年度は、榮久庵氏の「発意の地・広島」での開催を決定いたしました。榮久庵氏がかつて「道具論」の教鞭をとった広島市立大学（担当：吉田幸弘／芸術学部長）のサテライトキャンパスを会場に、道具学会研究発表フォーラムを開催いたします。

道具学研究発表フォーラム実行委員会委員長 山田晃三



●大会のテーマ

「都市広島と道具学」

----- 道具学提唱者・榮久庵憲司の足跡をたどる

昨年、映画「オープンハイマー」がアカデミー賞7部門を受賞した。原爆の父と呼ばれたひとりの理論物理学者の成功と挫折の人間ドラマだった。原爆という兵器は、20世紀最大の発明ともいわれる。破壊を目的とした「極限の道具」といってもいい。1945年の8月6日、世界で初めてこの道具が、使用された。広島は刹那にして十数万の人間の命と、動植物、建物・乗り物、生活具たちの命も破壊された。さらに放射能が長く人々を苦しめる。米国の調査団は、この町は75年間草木も生えないだろう、と本国に報告した。

呉の海軍兵学校から広島にもどった16歳の青年は、直後に見たその広島の光景を「凄惨な無」と後述している。この原爆で妹と父を失う。何もない、凄惨な光景のなかで、何かを手にしたいたい強く思った。その先に、彼は何を見、何を誓ったことだろうか……。都市広島は、榮久庵憲司氏の「発意の地」である。

あれから80年が経過した。広島は街は草木が生い茂り、緑豊かな平和な街としてよみがえった。榮久庵氏の没後10年となる2025年の2月、私たちはふたたび「グラウンド・ゼロ」のこの地から、人と道具の現在そしてその未来について、みなで思考する時間をもてらなければ幸いです。



日程：プログラム

「都市広島と道具学」

----- 道具学提唱者・榮久庵憲司の足跡をたどる

日時：2025年2月1日(土)

※エキスカーション31日(金)・2日(日)

1月31日(金)

エキスカーション・1

(自由見学～18:00閉館)

●広島原爆資料館／原爆ドーム

2月1日(土)

道具学研究発表フォーラム (10:00～)

●記念講演 ●基調講演 ●研究発表 ●質疑応答

交流会 (18:30～)

●挨拶 ●紹介 ●会食／歓談

2月2日(日)

エキスカーション・2

(9:30～ 17:00)

●広島電鉄本社 車両基地見学

●瀬戸内海クルーズ (広島～呉)

●大和ミュージアム見学

開催場所

広島市立大学サテライトキャンパス

中区大手町4-1-1広島平和ビル9F 広島電鉄・市役所前下車

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/satellite-campus/>

Googleマップ <https://maps.app.goo.gl/xD66fxc3kiCXy7iWA>



研究発表フォーラム-1

記念講演：上田宗問（うえだそうけい）茶道上田宗箇流家元

思い出は美しくなくてはなりません



榮久庵さんとの出会いは、昭和57年（1982）3月、広島県立美術館で開催された「上田宗箇ゆかりの名品展」。記念講演は榮久庵さんでした。私は、桃山時代以来の武家の茶を継承する上田家の茶に専念すべく31歳の時に広島銀行を退職。被爆により中心地が壊滅した広島歴史、文化の再構築には原点復帰しかないと、始祖上田宗箇が広島城内に江戸初期に造営した上田家上屋敷の構成再現を計画しました。昭和54年（1979）に茶寮和風堂を再建、茶室遠鐘と外露地の復原に着工。展示会はその完成記念を兼ねていました。講演後に榮久庵さんは和風堂にお越しになりました。昭和62年（1987）に日本デザイン会議が広島で開催され、榮久庵さんが議長を務められました。会議の冒頭、榮久庵議長は「広島は、被爆を乗り越え七色のプリズムの如く光を放っていかねばならない」。榮久庵さんが原爆で家族を亡くされ、被爆後の広島に住まれた時期があったと、この時知りました。



30年の歳月を掛けて広島城内上田家上屋敷構成再現が完成し、平成25年（2013）年3月25日、榮久庵さんが再び和風堂へお越しになりました。茶室遠鐘で一服され「僕は広島というと今まで悲惨な被爆後の光景が目浮かびました。今日からは広島と言われると再現された上田家上屋敷を思い浮かべます。思い出は美しくなければなりません」と、忘れ得ぬ一言を語られました。



略歴／1945年生まれ。広島県広島市出身。慶応義塾大学経済学部卒業後、広島銀行に勤務。1995年上田宗箇流家元を継承。各地の茶室などを監修。国内のみならず海外でも講演・茶会を多数行う。2008年広島市民賞受賞。2009年中国文化賞受賞。2015年広島市被爆70周年記念事業で上田宗箇流平和公園茶会を行う。2017年文部科学大臣より地域文化功労賞受賞

<https://www.ueda-soukoryu.com>

基調講演：弥中敏和（やなかとしかず）

GKデザイン総研広島代表取締役社長

道具を成すもの --- 広島の実験から



略歴／1968年生まれ。九州芸術工科大学(現九州大学)芸術工学部環境設計学科卒。1991年株式会社デザイン総研広島入社。2013年より現職。一級建築士。日本インダストリアルデザイン協会（JIDA）西日本ブロック長、広島デザインネットワーク副会長、建築環境系から、プロダクト系、コミュニケーションデザイン系を横断し、広島からのデザイン思考を内外に発信している。

<https://www.gk-design.co.jp/dsh/>



研究発表フォーラム-2

道具学研究発表

(各発表20分+質疑5分)
モデレータ：副会長 面矢慎介

※ 発表タイトル名、発表者名は、一部省略させていただいています。正式には公式ホームページでご確認ください。

1 ●榮久庵憲司の『道具論』について (仮) / 理事 世田谷美術館学芸員 野田尚稔

2 ●道具と美意識 (仮) / マツダ株式会社エグゼクティブフェロー 前田育男

3 ●デザインと日本語の道具学的雑感 (仮) / 理事 札幌市立大学名誉教授 石崎友紀

4 ●ギリシャ発祥の手遊び文化「ペグレリ」 (仮) / (株)キボロコ+札幌市立大学

5 ●鎌倉市禅宗寺院における冠木門について (仮) / 慶應義塾大学環境情報学部 入江康仁

▶ 休憩

6 ●「駅」--- 美しい椅子を思考する (仮) / マツダ(株)+広島市立大学 共創ゼミチーム

7 ●乗り手と自転車のコミュニケーション再構築(仮)/パナソニックサイクルテック(株) 鈴木稜大

8 ●利水の連鎖 (仮) / 武庫川女子大学生生活環境学部教授 黒田智子

9 ●ものづくりと社会的責任 (仮) / 理事 静岡文化芸術大学名誉教授 峯郁郎

10 ●乗り物における椅子なる道具の考察 (仮) / (株)GKデザイン総研広島顧問 唐澤龍児

交流会

「アル・マンドリーノ」 広島市中区大手町2丁目8-4 パークサイドビルB1F

広島のみなさんとイタリアンで懇親

貸切立食形式・会場より徒歩15分

<https://www.almandolino.com/menu.html#dinner>



エキスカーション

●以下、おおまかな日程です。詳細変更の可能性もあります。

エキスカーション・1

1月31日(金) 原爆ドーム・平和記念資料館

各自 自由見学

(～18:00資料館閉館)

各自事前予約をおすすめします



<https://dive-hiroshima.com/explore/2675/>

エキスカーション・2

2月2日(日) 1.広電本社車庫「被曝電車650系」

9:30～ 広島電鉄本社前 集合

●広島電鉄からのレクチャー・見学会

●「被曝電車650系」試乗

11:30～宇品港に移動

12:00 宇品港着



<https://rcc.jp/tram/>

2.瀬戸内海クルーズ「SEA PASEO」

12:25 宇品港発～

●SEA PASEO 乗船 (45分間)

13:10 呉港着



<https://setonaikaikisen.co.jp/seapaseo/>

3.大和ミュージアム(呉海事博物館)

14:00 ミュージアム入館

●ミュージアム見学 (約90分)

16:02 JR呉駅発

16:49 広島駅着



<https://dive-hiroshima.com/explore/68/>

参加申し込みは、下記公式サイトより

道具学会/道具学フォーラムのページ <https://douguology.jp/forum2502/>



テーマ解題の視点／参考資料

道具学会フォーラム2024

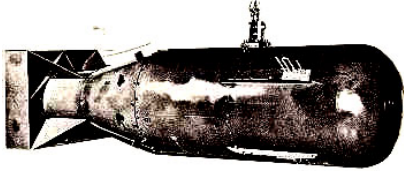
「都市広島と道具学」

-----道具学提唱者・榮久庵憲司の足跡をたどる

KEYWORD



出典：AFP時事通信社
https://www.ziji.com/jc/d4?p=ncl122-jlp00940203&d=d4_mili



出典：上田宗箇流和風堂

出典：広島市 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/9399.html>



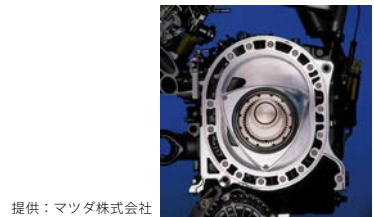
出典：中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター



出典：国際平和都市拠点ひろしま <https://hiroshimaforpeace.com>



出典：株式会社MACHA



提供：マツダ株式会社



提供：瀬戸内海汽船株式会社



提供：マツダ株式会社